

社会福祉法人 檜の里

令和4年度
事業報告書

【ミッション】

私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の
明るい未来を開くため、
総力を上げて支援を行います。

【ビジョン】

豊かな自然の中で、
社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、
利用者とともに歩み続けます。

はじめに

3年越しとなった新型コロナウイルス感染症では、第六波から第八波にかけてオミクロン株の猛威は、今までの観念をはるかに超えたもので、3度にわたるクラスターを体験することとなった。しかしながら今日までの経験から得たコロナに対する知見に基づき、利用者の社会生活の回復に向けた努力を開始した一年でもあった。一例として分散形式ではあったが面会日の開催、11月20日から2泊3日での一時帰宅の実現。そして休日の買い物などがあげられる。

7月後半の2度目のクラスターの時には、そのほとんどが重症化リスクの高い利用者だった。猛暑が続く時期でもあったが職員の懸命な介護により、一人の重症者もなく回復できたことは職員の意識の高さによるものであり敬意を評したい。また、罹患した利用者支援にあたった職員の感染は全て防ぎきれたことも日頃の感染対策の訓練の賜物であった。

本年度より利用者支援は「全員処遇」を謳っている。生活支援員は利用者に対して総合的な責務があり、他職種との協力関係は必須とされる。「良き隣人たれの精神」は職種を問わず共通するものであり確実に浸透してきた。看護師は休日出勤をはじめ、通院支援の迅速さ、的確な看護業務の遂行など生活支援員との共同支援が成立している。生活班は、利用者の快適な暮らしを常に考えた衛生環境を整えており、職員にとっては心強い助けとなっている。また、朝の利用者の交流ホームへの移動の場面でも安全確保に貢献している。さらに広域農道の除草作業まで協力した。グループホーム支援においても多くの方による支援が繋がり苦難を乗り越えてきた。利用者を中心に置き、多くの方たちによる暖かで適切な支援の輪を築いていくことをこれからも指針としていきたい。

中期事業計画による日中活動の中集団化は、検証結果により成功したと評価できる。内訳として、通院支援においては、前年度対比で130パーセント増の514件にもなったが、全ての受診医療機関を地域移行したことで、看護師のみによる通院実績が増えた。現在のところ日中活動を妨げる懸念は解消された。また、職員配置問題等の対応策としても反映され、生産活動を維持するための職員配置数、同じく介護支援の手を維持していくための有効な配置が可能となった。高齢虚弱化対策として、理学療法士磯野氏(月/1 回来園)の力添えは支援員にとっても励みとなり、専門的な支援力の向上に繋がっている。

新棟建設についてはウクライナと世界情勢の影響を受け、見通しが困難な状況となり、動向を見守っているが、令和5年度には再度検討会を再開して方向性を固めていきたい。

ライフサポート委員会で取り纏めた「ライフプラン」から見えてきた課題の整理を行った。懸案とされるいくつかの事項があり個別に対応していくことになる。

この1年を振り返るとやはりコロナ対策を中心とした生活を続けてきたといえるが、日中活動に関しては概ね通常活動に近いサービス提供が成立したことは利用者にとっても精神的支柱となり、(「特別日課」及び「緊急事態」体制時一部除く)健全な暮らしを続けてこ

られた一因と理解している。日課はとても重要であり、英気を養う大切な時間として守らなければいけない。そのためにも良き人材確保が必要であり、本年度は何とか確保することができたが課題は残されている。

【1】令和4年度を振り返って

高齢化に伴う深刻な病変や怪我、そして新型コロナウイルス感染症に3度もクラスター感染を余儀なくされた一年でした。振り返ると大変な出来事の連続でしたが、乗り越えられてきたことは、ひとえに職員の理解と協力があったのもです。常々日常の「報連相」を大切にしてきたことの証といえます。

Tさんの顔色の微妙な変化に看護師が気づき通院した結果、すでに深刻な病状に入っており、亀田総合病院に即日入院し、親族も含めて余命について話し合うという衝撃的な経験をいたしました。Tさんは亡くなる前日に亀田総合病院から学園にほど近い岬病院に転院しましたが、その途中学園に立ち寄り意識が朦朧とするなか、皆との再会を果たし、翌日にお亡くなりになりました。告別式は大好きなウルトラマン一式にして、4月29日に交流ホームでご親族同席のなか、全利用者と職員でお別れをいたしました。ご親族の方より「Tさんはいすみ学園で生きてこられて幸せでした。」と一言くださり、私たちの仕事の重みを改めて痛感した思いが残ります。また、同時期に重いてんかん発作に苦しむIさんが、塩田病院での入退院を繰り返す最中でもあり、加えて初めて新型コロナウイルスに感染してしまいクラスター化したときでもありました。喫緊で三つの重大事案に直面した思いからここに書き留めることにしました。

高齢化のリスクのなかで最も恐れていることは「転倒」による事故で、特に車いす対応前の状態の方たち。見守りや介助で難を凌いでいますが、杖歩行・歩行器具等様々なインシデントが個々によって異なります。安全カメラは16台設置してリスク管理に役立ちますが、居室での転倒事故など個々の管理には難しい課題が残ります。2月に居室で転倒したKさんは今なお入院中です。

健康管理とリスクマネジメントの重要性を今年度の教訓として、次年度体制に反映していきます。あたりまえの元気が何よりも幸せであり、一番大事であることを認識し、今後の事業運営にあたります。

【2】利用者支援の柱

(1) 高齢・虚弱者対策

1. 利用者の健康管理

新型コロナウイルスは変異を繰り返し、感染力を強めていった。いすみ学園でも引き続きコロナ対策を継続して感染防止に務め、日常の生活環境への配慮や衛生面の対応、ワクチン接種等も行っていたが、今年度はクラスターの危機に直面した。コロナウイルス感染（3度のクラスター）により利用者も職員も様々な制限の中での生活が続いたが、利用者も緊急事態を理解してくれ、お互いに協力して助け合いながら自分たちにできることを行った。感染者の別棟への隔離や生活棟内のゾーニングなど、これまでの経験を活かして施設内の感染拡大を防ぎ、結果として全員無事に乗り切ることができた。感染時は数名の利用者に高熱等の症状がみられたが比較的早く回復し、収束後も全員後遺症はない。嘱託医である川野先生には今年度も訪問診療や健康診断の結果相談を行った。コロナ感染時も相談してアドバイスをいただき、対応に役立てた。

また脳神経内科の野村先生にもコロナ対策や健康管理の情報をいただいた。診察も毎月実施され、高齢化と共に変化する情緒や体調に即応できる体制を整えることができていく。他脳神経内科にかかっていた利用者も保護者の要望などを受けて、野村先生に移行させている。

コロナウイルス感染状況は下記の通り

令和4年4月5日から 4月25日、7名感染。（グループ実習の社員より感染）

令和4年7月30日から8月22日、12名感染。（職員の家族より感染）

令和4年12月13日から1月2日、25名感染。（外作業班利用者より感染）

令和5年1月17日から1月25日、2名感染。（職員より感染）

2. 主な健康管理

内容	実施日	対象者
健康診断(胸部 XP 心電図を含む)	8/31 3/22	全利用者 夷隅医師会診療所（巡回検診）
夜勤従事者・その他職員 (夜勤従事者のみ年／2回)	7/14 1/30	職員(7月24名・1月39名) JCHO 千葉病院（巡回検診）
前立腺がん検診	9/27	対象者21名
大腸がん検診	9/27～10/5	対象者51名
乳がん検診	7/25	対象者20名
歯科検診（鈴木歯科医院）	6/9	全利用者

(ちはら歯科)	9/24	全利用者
コロナワクチン接種	9/13～9/20 1/27～2/17	利用者66名 利用者67名
インフルエンザ予防接種	10/29	全利用者・職員122名
脳神経内科（野村 Dr.）	毎月第2金曜日	延べ人数 414名
嘱託医内科（川野 Dr.）	毎月第3水曜日	延べ人数 47名
毎月第一土曜日に、全利用者の体重・血圧測定を実施。		
救急法・AED講習会を、夏の一時帰宅日に夷隅消防署の協力で毎年実施しているが、令和4年度はコロナのため未実施。		

施設外診療

診療科目	延人数	備考
神経内科	5	
内科	327	ワクチン接種、健康診断
外科	8	
整形	5	
婦人科	1	
皮膚科	30	
眼科	1	
泌尿器科	14	
耳鼻科	5	
歯科	118	
〔合計〕	514	

- ・利用者の高齢虚弱化は年々進み、通院も増加。特に内科と歯科の需要が高まっている。内科の集団通院や看護師による薬の処方依頼など、工夫して対応している。歯科治療については、検診と治療をちはら歯科の診療を開始した。

〔野村先生診察日〕

4/8	5/13	6/10	7/8	8/5	9/9
10/14	11/11	12/9	1/13	2/10	3/10

- ・昨年度に引き続き、野村医師による毎月の訪問診察を実施した。

3. 入院者（3名）

- ・男性利用者 AT さん R4/3/26 いすみ医療センター受診にてすい臓がんの疑いがあり、そのまま亀田総合病院入院。（すい臓がんステージ4）

岬病院（療養型病院）に4/26転院、翌日死亡

- ・男性利用者 IY さんてんかん発作続き薬の調整の為、塩田病院に4/12～6/16まで入院する。てんかんが落ち着かないため再入院するが、食事が食べられないため、胃ろうの増設手術を行った。6/20～9/16まで塩田病院に入院する。
- ・男性利用者 MK さん、2/18居室で衣類を取ろうとして転倒し、大腿骨転子部骨折する。塩田病院に2/25入院する。（現在入院中）

4. 食事形態

【主治医の川野先生から指示があり食事変更を行った】

- ・ 7/14（昼）～ A⇒A/D食を1/2で提供（1200 kcal ⇒ 800 kcal） 女性1名
たんぱく質ゼリー、朝・昼各1個提供 合計1000 kcal
体重増加傾向
- ・ 10/20（昼）～ A/C⇒A/C（1400 kcal ⇒ 1200 kcal） 女性1名
体重増加傾向
- ・ 3/20（昼）～ E/D⇒D/E（2400 kcal ⇒ 2500 kcal） 男性1名
アルブミン低値の為おかず量増やす。
- ・ 3/20（昼）～ A/C⇒C（1400 kcal ⇒ 1800 kcal）
体重減少傾向 食事量増やす 女性1名

【健康管理委員会にて食事量の見直しを行った方】

- ・ 5/16（朝）～ E/D⇒D（2400 kcal ⇒ 2100 kcal） 男性1名
C/D⇒D（2000 kcal ⇒ 2100 kcal） 男性1名
B/C⇒C（1700 kcal ⇒ 1900 kcal） 女性1名
- ・ 7/9（夕）～ B/C⇒C（1700 kcal ⇒ 1900 kcal） 女性1名
- ・ 9/24（朝）～ たんぱく質ゼリー 4個/日付ける
- ・ 10/24（朝）～ たんぱく質ゼリー、昼・夕各1個、朝「プロテイン FeZ」、
昼「リハたいむ 1本付ける」 女性1名
- ・ 11/14（朝）～ D⇒D/E（2100 kcal ⇒ 2500 kcal） 男性1名
D/E⇒E（2500 kcal ⇒ 2800 kcal） 男性1名
個人購入にておやつに栄養剤1本付ける 男性1名

【体調不良などで食止めや食事形態、食具の変更を行った方】

- ・ 4/4（昼）～ 歯科都合にて刻み食提供から常食へ戻す。 男性2名
- ・ 4/27（昼）～ 5/11（夕）体調、嚥下状態に合わせ個人購入した
栄養剤やゼリー飲料、コーヒー牛乳、スベラカーゼ粥
など食事形態を下げて提供。 男性1名

- ・ 5/20 (昼) ~ 5/27 (朝) 水様便、軟便続いたため常食から粥・刻み食提供。 女性1名
- ・ 6/16 (昼) ~ 6/19 (夕) 個人購入ゼリー・ようかん、たんぱく質ゼリー、スベラカーゼ粥・極刻み、とろみ剤使用 男性1名
- ・ 8/ 3 (夕) ~ 8/29 (朝) 朝・夕、主食パン食 昼栄養剤1本付ける
新型コロナウイルス感染中食事摂取量が低下した為。パン食
差額個人に請求あり 男性1名
- ・ 12/ 2 (夕) ~ 12/ 5 (朝) 嘔吐あり食止め
- ・ 12/ 5 (昼) ~ 12/ 6 (昼) 食止めからの食事提供の為、全粥で提供
- ・ 12/ 6 (夕) ~ 12/ 7 (昼) 嘔吐あり食止め
- ・ 12/ 7 (夕) ~ 12/10 (昼) 全粥・極刻みを提供
- ・ 12/10 (夕) ~ 12/12 (朝) 嘔吐あり食止め
- ・ 12/12 (昼) ~ 12/13 (朝) 食事止め 毎食栄養剤 200 kcal/1本のみ
- ・ 12/13 (昼) ~ 12/16 (朝) 随時食上げ 3分がゆ→5分がゆ→全粥
軟菜、極刻み
- ・ 12/16 (昼) ~ 全粥・極刻み提供 嘔吐なく食事が摂れる。 女性1名
- ・ 2/14 (昼) ~ 2/27 (朝) ウイルス性胃腸炎主食を粥へ食下げ 男性1名
- ・ 2/20 (夕) ~ 2/25 (昼) 右大腿骨転子部骨折 ベッド上での
食事の為副食食下げ 水分トロミ剤使用 男性1名
- ・ 2/27 (夕) ~嘔吐にて、主食量粥そのまま、副食のみ1/2量に減らして提供
- ・ 3/ 7 (昼) ~嘔吐なく安定している 粥、副食1/2量から全量へ
- ・ 3/16 (昼) ~嘔吐なく安定している 粥から常食へ 女性1名
- ・ 3/16 (昼) ~昼の麦ごはん嫌食へ 体重減少・胃腸炎あり
苦手な主食(ごはん)の摂取量を確保するため 男性1名

【感染症予防対策にてディスプレイ食器(使い捨て食器)使用】

- コロナウイルス対応 4/ 5 (夕) ~ 4/25 (昼) まで
- コロナウイルス対応 7/30 (夕) ~ 8/29 (朝) まで
- コロナウイルス対応 12/13 (昼) ~ 1/ 5 (昼) まで

【栄養管理、献立について】

- ・ 令和3年2月に嗜好調査、身体活動レベルの見直しを行い、令和4年度の給与栄養目標量を算定しました。
給与栄養目標量：エネルギー2200 kcal/たんぱく質 82g/脂質 60g/炭水化物 330g/食塩 8g
- ・ 療養食加算 糖尿病食 女性2名 DM1400 kcal 令和3年度より 食塩 6g 以下
DM1900 kcal 4/ 6 (夕) より

糖尿病食 男性 2 名 DM1900 kcal 令和 2 年度より

DM2100 kcal 4 / 6 日夕) より

- ・ 経管栄養 半固形栄養剤ラコール 1 パック 300 kcal (2P - 2P -0) 1200 kcal 男性 1 名
- ・ 個人購入にて栄養剤 (たんぱく質ゼリー等) 提供している方 男性 2 名 女性 4 名
 <たんぱく質ゼリー : 70 g / 1 個 (エネルギー 91 kcal タンパク質 7.5 g) >
- ・ 6 / 19 日曜日より、昼食時、主食にもち麦を 1 割添加している。
- ・ 3 / 27 より週 1 回、おやつにヤクルトジョアを提供している。

【栄養状態の評価 52 名中】

令和 4 年 4 月 肥満 12% : 男性 3 名 女性 3 名 痩せ 6% : 男性 1 名 女性 2 名

令和 5 年 3 月 肥満 8% : 男性 1 名 女性 3 名 痩せ 20% : 男性 6 名 女性 4 名

	男性	女性	とろみ使用
常食	28 名	12 名	0
一口大	4 名	3 名	1 名
刻み	0	2 名	1 名
ごく刻み	1 名	1 名	2 名
粥	0	1 名	
スベラ粥	1 名	1 名	
経管栄養	1 名		

令和 5 年 3 月 31 日 現在

5. 感染症対策

今年度も昨年度同様に、新型コロナウイルス対応に終始した。随時新たな情報を探り、職員間で共有しながら感染対策を続けた。感染症マニュアルを遵守し、利用者の検温・うがい・手洗い・消毒・休日の外出制限・面会・一時帰宅の中止・行事の縮小など様々な対応を行い感染予防に務めたが、「利用者の健康管理」にも書いた通り、クラスターを経験した。コロナウイルスは変異を繰り返したが、今年度のオミクロン株の感染力は強く、就労者の職場や行事での利用者外出時、職員の家族からの感染など、合計 3 度のクラスターを招くことになった。その度に、別棟への感染者隔離や生活棟内のゾーニングを迅速に行い、施設内の感染拡大を防いだ。

6. 高齢者支援

利用者支援において、年々介護の度合いが大きくなっている。嘱託医の川野医師・野村医師、理学療法士の磯野 PT から助言と指導を頂いている。

常時車椅子を使う方だけでなく、足腰の状態により車椅子を使う方が出てきたり、歩行器を使う方が増えたり、歩行時の付き添いや見守りが必要になったりと、マンツーマンで対応する利用者が増えている。これにより、移動時に介護者に職員が個別に付いて動く必要が生じ、他にも食事・歯磨き・トイレ・入浴・着替え等、生活のあらゆる場面で人手や介護の時間がかかる現状となっている。

胃ろうの利用者も1名増え、時間ごとの体位交換や身のまわりの介護、健康管理も日々対応している。現在は喀痰吸引の研修を受けた支援員が2名いるが、今後も需要が見込まれるため、次年度は更なる職員の研修受講を進めていく。

7. 日中活動

コロナ禍において各所で様々な自粛が続けられており、学園行事なども中止や縮小が余儀なくされてきた。しかし、制限だけを続けるのではなく、段階的に緩和できることを探りながら、利用者の楽しみのひとつであるボーナス外出の実施や外出時の買い物等の調整を行った。次年度はコロナが2類から5類へと変わることから、引き続き感染症対策は続けながらも行事等を復活させ、元の生活を取り戻すべく支援を行っていく。

作業班については大きな改編は行わず、利用者の健康と情緒の安定に努めた。結果的に、落ち着いた日中活動を維持することができている。高齢虚弱者の日中活動支援と生産性を求める日中活動支援との二極化の進行については、昨年度に集団化した介護班と外作業班の活動内容の更なる充実と、石鹸班や食品加工班の生産活動の拡大・販売促進を進めている。

8. 新棟建設

新棟建設に関してはコロナ禍のため会議を延期していたが、一昨年に会議でこれまでの経緯を踏まえ内容を再確認し、利用者にとって「終の住処」となるべき新棟建設への第一歩を再開した。おおよその内容を詰めていく段階を迎え、東京オリンピックによる建設資材の高騰が落ち着くのを待っているさ中に、ロシアによるウクライナ侵攻が始まった。これにより更に資材が高騰して費用が跳ね上がり、予算の見直しが必要になっている。現在は利用者のより良い住空間作りに向けて情報収集を継続して実施しながら、今後の進捗を見守っている。

9. 介護浴槽

介護浴槽を日常的に使用してきたのは女性利用者2名と男性利用者1名であったが、今年度新たに男性利用者1名が加わった。利用者の身体機能は年々衰えており、一般浴槽での入浴が困難になった利用者には介護浴槽での入浴を経験してもらい、状態が合えば移行していく形をとっていく。介護浴槽は介護を必要とする利用者にとって、安全な入浴の為に欠かせない設備である。既に職員全員が介護浴槽の実用的な利用方法を習得してお

り、今後も活用していく。

その他

・専門的知識と専門的技術

職員の福祉系国家資格取得に関するサポートは継続して行っている。介護福祉士資格ならびに社会福祉士資格にも数名が挑戦した。喀痰吸引等認定者研修はコロナ禍のため派遣を見合わせていたが、次年度はコロナが2類から5類へと変わり、社会全体の動きも活性化していくことが見込まれるため、支援員の研修参加を目指す。

・介護施設との関係

コロナ禍において、ほぼ総ての高齢者施設・障がい者支援施設が外部との接触を断っている状態にあり、施設間の行き来ができなかった。いすみ学園でも要介護者の増加が続く中、実践的な介護技術の習得や更なる技術の学習が望まれる。今後、高齢者施設との交流や情報交換を探っていく。また、これまでも介護福祉士による介護についての職場内研修や利用者支援での情報共有・技術指導等を行ってきたが、次年度も引き続き進めていく。

(2) 人材確保

これまで、優しさと思いやりを持った人材確保を目標としてきた。

退職者があれば直ぐに職員の補充を行い一定の人材確保はできているが、介護職等からの中途採用が多く、新卒の人材獲得は難しい状況がある。職員の平均年齢も高くなっており、次代のいすみ学園を担う若手職員の確保という大きな課題は残されたままである。コロナ禍で、就職面談会などの中止も相まって若手職員の採用にまでは行きつかなかった。次年度は新卒者の採用を目指す。

1. 求人活動

学園ホームページ、大学共通ネット、福祉協会の求人ネット等を活用し、継続的に取り組んできているが、若手職員の確保は十分ではない。コロナ禍で、学校主催の「就職ガイダンス」やハローワークなどが主催する面談会への派遣もこの数年は自粛状態であった。次年度も学校等と連絡をとり、求人活動を積極的に行っていく。

いすみ学園のホームページを見たという問い合わせは年々増加してきており、コロナ禍における求人の在り方として定着してきた。

求人票 提出一覧

学校名	キャリアセンター 電話	提出方法	発信日	備考
植草学園大学	043-233-9080	キャリアタス UC	4/13,8/24	4月14日
		施設長がポスター 持参	7/14	チラシ・パン フレット持参
植草学園短期大学	043-233-9080	キャリアタス UC	4/13,8/24	チラシ・パン フレット持参
江戸川大学	047-153-6161	キャリアタス UC	4/13,8/24	
順天堂大学	03-5802-1737	キャリアタス UC	4/13,8/24	
淑徳大学	043-265-7331	キャリアタス UC	4/13,8/24	
		求人受付ナビ	4/14	
		施設長がポスター 持参	9/28	チラシ・パン フレット持参
淑徳大学短期大学部	03-3966-7763	求人受付ナビ	4/14	
城西国際大学	0475-55-8888	キャリアタス UC	4/13,8/24	
		施設長がポスター 持参	9/28	チラシ・パン フレット持参
千葉経済大学	043-253-9928	キャリアタス UC	4/13,8/24	
		学内個別説明会	6/22	高地・吉田 出席
千葉経済大学短大学部	043-253-9928	キャリアタス UC	4/13,8/24	
千葉商科大学	047-373-9705	キャリアタス UC	4/13,8/24	
千葉敬愛短期大学	043-486-7111	キャリアタス UC	4/13,8/24	
東洋学園大学	F03-3811-5024	キャリアタス UC	4/13,8/24	
了徳寺大学	047-382-2111	キャリアタス UC	4/13,8/24	
流通経済大学 (松戸)	047-340-0294	キャリアタス UC	4/13,8/24	
		求人受付ナビ	4/14	
和洋女子大学	047-371-1125	キャリアタス UC	4/13,8/24	
茨城キリスト教大学	0294-52-3215	求人受付ナビ	4/14	
桜美林大学	042-797-6465	求人受付ナビ	4/14	
大妻女子大学	03-5275-6081	求人受付ナビ	4/14	
大妻女子大学短期大学部	03-5275-6081	求人受付ナビ	4/14	
鎌倉女子大学	0467-44-2111	求人受付ナビ	4/14	
鎌倉女子大学短期大学部	0467-42-2111	求人受付ナビ	4/14	

関東学院大学	045-786-7017	求人受付ナビ	4/14	
国際武道大学	0470-73-4123	求人受付ナビ	4/14	
国士舘大学	03-5481-3308	求人受付ナビ	4/14	
相模女子大学	042-742-1734	求人受付ナビ	4/14	
実践女子大学	042-585-8825	求人受付ナビ	4/14	
実践女子大学短期大学部	042-585-8825	求人受付ナビ	4/14	
十文字学園女子大学	048-489-1271	求人受付ナビ	4/14	
昭和女子大学	03-3411-5119	求人受付ナビ	4/14	
聖徳大学	047-365-1111	求人受付ナビ	4/14	
聖徳大学短期大学部	047-365-1111	求人受付ナビ	4/14	
石巻専修大学	0225-22-5019	求人受付ナビ	4/14	
大正大学	03-5394-3022	求人受付ナビ	4/14	
大東文化大学	03-5399-7321	求人受付ナビ	4/14	
玉川大学	042-739-8111	求人受付ナビ	4/14	
帝京平成大学	0436-74-5388	求人受付ナビ	4/14	
田園調布学園大学	044-955-4370	求人受付ナビ	4/14	
東京家政学院大学 町田キャンパス	042-782-9811	求人受付ナビ	4/14	
東京国際大学	049-232-1115	求人受付ナビ	4/14	
東京都市大学	03-5707-0104	求人受付ナビ	4/14	
常磐大学	029-232-2534	求人受付ナビ	4/14	
常磐短期大学	029-232-2534	求人受付ナビ	4/14	
白鷗大学	0285-22-9722	求人受付ナビ	4/14	
法政大学	03-3264-9604	求人受付ナビ	4/14	
武蔵野大学	03-6865-1025	求人受付ナビ	4/14	
明星大学	042-591-5144	求人受付ナビ	4/14	
目白大学	03-5996-3148	求人受付ナビ	4/14	
目白大学短期大学部	03-5996-3148	求人受付ナビ	4/14	
山形大学	023-628-4128	求人受付ナビ	4/14	
立正大学	03-3492-6697	求人受付ナビ	4/14	
ルーテル学院大学	0422-31-4611	求人受付ナビ	4/14	
和光大学	044-989-7492	求人受付ナビ	4/14	
帝京大学	042-678-3307	求人受付ナビ	4/14	
千葉明德短期大学	043-265-1613	施設長がポスター 持参	9/15	チラシ・パン フレット持参

コロナ禍で説明会は少なく、今年度も求人情報の発信を行った。
次年度も、各所の状況・受付開始に合わせて対応していく。

2. 大原高等学校との連携

例年実施してきた「いすみ市障害福祉施設協議会の地域ふれあい事業（以下「3施設」と記す）」で実施されてきた「3施設合同見学会」であったが、コロナ禍のため今年度も自粛することとなった。福祉人材への「種まき」という意味合いで続けてきた事業であり、「収穫」までには時間が必要である。昨年度から大原高等学校への講師派遣依頼に応じており、令和5年度も学園職員を外部講師として派遣する。

(3) 人材育成

1. 職場内研修

いすみ学園の職員研修として定着してきた職場内研修であるが、今年度からは研修テーマも現場責任者である主任会が設定することとした。研修実施者は主に管理者と主任会であるが、目的は「課題の抽出」と「課題の解決」にある。検証に関しても前年度同様に実施している。

(職場内) 職員会議後に実施(1時間)

実施月	テーマ	担当職員
4	「学園理念」	施設長
5	「支援の方向性」	課長
6	「自閉症を学ぶ」	軽込
7	「虐待防止」	加茂
8	「防災対策」	三上
9	「権利擁護」	岩瀬祐
10	「お薬について」	看護師
11	「介護予防」	鈴木典
1	「危機管理」	片岡
2	「生活支援」	田辺
3	「地域支援」	屋代

2. 職場外研修（直後の支援会議で研修報告をすることを義務としている）

前年度同様リモート研修が主になっているが、社会的に多様な研修の在り方も工夫され始めている。職員個々が持つ自主テーマにそった研修参加も徐々に可能な環境となってきた。専門研修や新人研修は計画的に実施した

(職場外) 目的的に派遣。

期間	参加者	研修テーマ	開催地
4/5	堂下、井上	千葉県福祉協会 地域支援部会	教育会館
4/12	堂下、長沼	社会福祉法人新任役員	リモート
4/19	堂下	東社協特別委員会 情報交換会	リモート
4/22	堂下、佐久間	千葉県福祉協会総会	幕張グリーン タワー
4/25	大屋	東社協 4月栄養調理スタッフ会幹事会	リモート
5/10	鶴岡	新人職員福祉入門講座	千葉
5/11	大屋	東社協 栄養調理スタッフ会役員会 (5月)	リモート
5/24	堂下	千葉県福祉協会政策委員会	協会本部
6/1	佐久間	千葉県知的障害者福祉協議会 理事会	千葉
6/4	高地	障害者虐待防止・身体拘束適正化に向けて	リモート
6/8	三神	災害対策委員会 (6月)	東京
6/11	會津	令和4年度千葉県てんかん支援拠点病院 web 研修	リモート
6/20	大屋	東社協 6月栄養調理スタッフ会幹事会	リモート
6/22	鈴木恵美	令和4年度感染対策研修会	千葉
6/22	堂下	千葉県福祉協会地域支援部会	クローバー 学園
6/23	大屋	給食施設における衛生管理について	千葉
6/29	大屋	千葉県栄養士会 食べるを支援する	リモート
6/29	鈴木恵美	利用者さんが飲んでいる薬を知ろう	リモート
7/4	大屋	東社協 日本食品標準成分表の概要と活用方法	リモート
7/13	軽込	令和4年度 全日本自閉症支援者協会総会	東京
7/13	三神	災害対策委員会 (7月)	東京
7/19	堂下	東社協特別委員会 情報交換会	リモート
7/20	祖一	家族との信頼を築くコミュニケーションの在り方	リモート
7/21	大屋	東社協 7月栄養調理スタッフ会幹事会	リモート
7/22	軽込	安全運転管理者講習	千葉
7/28	佐久間	千葉県知的障害者福祉協議会 理事会	千葉
8/2	田辺、片岡	ノウフクセミナー	千葉
8/23	大屋	東社協 8月栄養調理スタッフ会幹事会	リモート
8/25	長沼	改正個人情報保護法と業務対応のポイント	リモート

9/15	大屋	食品コンプライアンスセミナー	リモート
9/22	加茂	地域包括システム構築推進事業実務者会議	千葉
9/26	大屋	東社協 9月栄養調理スタッフ会幹事会	リモート
9/29	大屋	令和4年度 食品衛生講習会	千葉
9/30	堂下、井上	3施設連絡協議会	風川美術館
10/11	鈴木恵美	新型コロナウイルス感染防止対策	リモート
10/7	是枝	千葉県知的障害者協会権利擁護委員会定例会	千葉
10/14	堂下、長沼	都道府県経営協セミナー	リモート
10/18	堂下	東社協特別委員会 情報交換会	リモート
10/24	大屋	東社協 10月栄養調理スタッフ会幹事会	リモート
10/25	大屋	ごじゃ箱 漬物・梅干し説明会	千葉
10/27 ~ 28	鈴木恵美	看護研修会 知的・発達障害コース	リモート
11/2	堂下	千葉県福祉協会地域支援部会	協会本部
11/12	堂下	日本セルフ訪問ルポインタビュー	リモート
11/16	佐久間	千葉県知的障害者福祉協議会 理事会	千葉
11/18	佐久間	令和4年度 支援スタッフ部会第二回代表者会議	リモート
11/25	佐久間	令和4年度 関東地区種別代表者会議山梨大会	リモート
11/28	堂下、井上	令和4年度 障害者支援施設部会施設長研修会	千葉
12/9	片岡	相談支援・就業支援セミナー	リモート
12/17	軽込 鈴木恵美	令和4年度合同学習会「医療的ケアの現状と課題」	東京
12/19	長沼、土屋	会計業務（決算）研修会	リモート
12/19	大屋	東社協 12月栄養調理スタッフ会幹事会	リモート
1/13	大屋	令和4年度 オンライン学習会	リモート
1/13	小高	嚥下調整食 学会分類2021の実践	リモート
1/17	大屋	令和4年度給食施設研修会	リモート
1/23	大屋	東社協 1月栄養調理スタッフ会幹事会	リモート
1/26, 27	堂下	全国愛護大阪大会	大阪
1/27	土屋	ホームページ×SNSで魅力をより効果的に伝えるには	リモート
1/31	是枝	千葉県福祉協会 権利擁護委員会 研修会	リモート
2/7	堂下	東社協特別委員会情報交換会	リモート
2/11	軽込	全日本自閉症支援者協会 関東ブロック研修会	リモート
2/15	三神	東社協災害対策委員会 学習会	東京

2/18	軽込、鈴木	つながる・繋げるてんかん医療	茂原市
2/22	鈴木	作業療法士から見た知的障害者現場	リモート
2/24	堂下	千葉県福祉協会地域支援部会	協会本部
2/27	大屋	東社協 2月栄養調理スタッフ会幹事会	リモート

(若手・準職対象研修)

若手・準職の育成は中堅職員の役割であり、令和4年度も主任会で実施してきた。これら主任会による幅広いテーマ研修は、参加者から評価されている。

実施月	テーマ	担当職員
4	自閉症支援の実践	田辺
4	福祉制度	鈴木
5	虐待防止	岩瀬
5	危機管理	片岡
6	災害対策	三上
6	地域支援	屋代
7	感染症対策	田辺
7	介護予防	鈴木
9	BCP	三上
10	健康管理、感染症対策	田邊
11	健康管理、感染症対策	田邊
1	虐待防止	岩瀬
2	災害対策	三上

3. 人事考課「目標管理」

目標管理も人材育成・能力開発・公正な処遇基準とすることを目的とした取り組みであり、人事考課規定に基づき、10月と3月の年2回実施した。職員の能力・技術を高めることに加えて、上司と部下の相談や意見交換の機会を増やすことも目的としている。部下は目標の設定から達成まで状況を報告や相談をし、上司は経過確認や必要な助言を行う。そして結果を労い次の目標を考える行程へとつながり、コミュニケーションを深めることができています。

その他

今年度も、新人・若手・準職研修は必要とするテーマを主任会でまとめ、毎月1回計画的に取り組むことができた。(コロナ感染により日程の変更はあったが予定した内容は実施できた。) 利用者の生活に関わる様々な分野の研修を通して職員の育成に努めた。

(4) 減災・リスクマネジメント

自然災害の脅威は年々深刻さを増しているし、特に風水害の甚大さはライフラインに直結する問題である。いすみ学園は地理的優位性もあり、今のところ大きな災害から免れているが、災害は起こる前の準備と日常的な点検・管理が重要であることは言うに待たない。減災対策として重要視されるのは、「BCP（事業継続計画）」と「防災マニュアル」の遵守、並びに日常的な訓練の実施である。特に日常訓練についてはさまざまな場面設定を行うことと、数種類の炊き出し訓練を実践してきた。

新型コロナウイルス感染症に関しては、残念ながら3回のクラスターを経験することとなったが、5回に渡るワクチン接種が功を奏したか、誰一人として重度化することはなく難を乗り越えることができた。また情報伝達、指揮命令系統に関しては、施設長をトップとして一本化がなされ、混乱することなく統制を取ることができたことは大きな成果の一つである。

リスクマネジメントに関しては、書式を変更したインシデントレポートを活用している。件数も253件となり、ここ数年では高い伸び率であった。また年度ごとの傾向調査も実施されており、種別ごとの事故調査と防止策も事故報告書件数の減少につながっている（外傷転倒報告書：令和3年度57件 ⇒ 令和4年度42件）（事故報告書：令和3年度17件 ⇒ 令和4年度16件）。園内の事故確認には引き続き安全カメラを活用した。また居室の確認は難しい為、より危険度が高いと判断されたケースに関しては、保護者の同意のもとベビーカメラで居室の確認も行った。

情報収集に関してはリモート中心ではあったが、徐々に対面も可能となり、より濃密な情報収集がなされるように図った。

(5) 権利擁護

いすみ学園の権利擁護の取り組みは長く、「オンブズマン制度」や「福祉第三者評価」だけでなく、日常的な権利擁護の取り組みを推進してきた。とくに令和4年度は作業班ごとに日常的な権利擁護の取り組みをまとめ、ケース会議においてプレゼン形式で報告してもらい、全職員で共有できる機会を作った。

1. 権利擁護委員会による職員研修は今年も実施した。令和4年度は「支援者支援の重要性」という形で、支援者が十分に支えられメンタルヘルスが整っていることも、虐待防止には重要なポイントであると指摘がなされた。
2. 「福祉サービス第三者評価」は「日本品質保証」から変更し「メイアイヘルプユー」に依頼した。過去に受審した経験もあり、今回も多数の貴重な助言を頂くことができた。全体としては例年通りに高い評価を頂くことができた。
3. 県福祉協会の「権利擁護委員会」への職員派遣も継続実施している。福祉協会や各施設との情報交換は、いすみ学園権利擁護委員会の大きな柱となっている。

4. 「よろず相談会」は感染対策として依然として中止を余儀なくされている。代わりに「なやみ相談会」は定期的実施されており、施設長並びに苦情解決受付者が利用者の話しを傾聴する機会を設けている。

【3】生活介護（60名）

〔作業班編成〕 令和4年度については万木班と外作業班を大きく編成し直している。グループ実習については、園内作業に充てていた班を外作業班として転換を行っている。

作業班	利用者	職員
万木班	男性利用者 10名 女性利用者 11名 利用者（21名）	鈴木典子・加茂正和 高地優輔・岩瀬佳代子 吉田友希・會津みどり 小高由希子吉野由起子 甲木秀文・菅根早苗 鶴澤美帆
外作業班	男性利用者 16名 利用者（17名）	田辺清万・三上慎一郎 佐久間雅也・金城正直 長田圭司・三神颯人 末吉武司・川名純子 鈴木 晃
石鹼班	男性利用者 5名 女性利用者 4名 利用者（9名）	屋代精一・大木崇司 是枝志津子・藤平浩美
食品加工班	男性利用者 2名 女性利用者 8名 利用者（10名）	岩瀬祐三子・祖一陽子 市東やす子・池田恵理子 大屋真理子
グループ実習	男性利用者 8名 女性利用者 1名 利用者（9名）	片岡彰則・篠崎俊克 泰居容一

（1）園内の売上

分類	令和4年度（円）
手芸・石鹼・食品加工	4,068,828

受託整備（万木城址環境整備・広域農道）・農作業	1,972,804
障害者優先調達推進法事業（いすみ警察署）	92,000
合 計	6,133,632

ここ数年同様に新型コロナウイルス感染症の影響で、作品展・販売会はほぼ中止となっている。各作業班の努力で直売所の開拓などに尽力し、数字的には大きなそん色がなく推移できている。

（２）園内体験異動

園内体験異動はすでに十数年の実績を持っており、利用者の適性を見直しや高齢虚弱者の試行を目的に実施されてきた。大幅な作業班編成を実施した為、職員および利用者本人からの希望は殆どなく、昨年同様「加工班から外作業班」への週１度の移動を実施した。対象利用者は目的的に畑作業に取り組んでおり、良いリフレッシュの機会となっている。

【４】施設入所支援（５２名）

1 余暇活動

（１）クラブ活動

[クラブ編成表]

クラブ名	利 用 者	職 員
ウォーキング	女性利用者 6名	會津みどり・岩瀬祐三子 祖一陽子・鶴澤美帆
スイミング①	男性利用者 8名	高地優輔・屋代精一 泰居容一
スイミング②	男性利用者 9名	佐久間雅也・田辺清万 大木崇司
自転車	男性利用者 7名	末吉武司・片岡彰則
茶道	女性利用者 5名	是枝志津子・小高由希子 (斉藤先生)
陶芸	男性利用者 7名	篠崎俊克・長田圭司 (鈴木先生)
卓球	男性利用者 2名 女性利用者 4名	吉田友希・鈴木典子 三神颯人

悠ゆう	男性利用者	4名	岩瀬佳代子・三上慎一郎 金城正直・川名純子 菅根早苗
	女性利用者	4名	

今年度も月2回の会議日をクラブ実施日として内容の充実を図っている。

新型コロナウイルス感染症の影響での外出制限は続いている。しかし感染対策を徹底することでコンビニでの買い物など、部分的に制限を解除し、利用者の要望実現やストレス緩和を図ることができた。

(2) 絵画教室

絵画教室における先生の招聘は、作品のクオリティや利用者への指導方法など、利用者だけでなく職員も学ぶべき点が多い。可能な限り方向性を模索し続け、クラスター発生時以外には先生の教室を記載することができた。利用者にとって大きな休日の楽しみとなっている。

(3) マイサポート

	実施回数(回)	利用者(名)	備考
令和4年度	0	0	コロナ感染防止により中止

昨年度同様に感染症対策の為中止している。

(4) ボランティア(定期的な人)

昨年度同様に感染症対策の為中止している。

(5) いすみ学園三大祭り：夏祭り・槇の里祭・歌の祭典

感染症対策は重要であるが、三大祭りは利用者の人生において「柱」となっているもの一つである。可能な限り実現できるように対策と配慮を重ねてきた。しかし現実的にはクラスターも経験し夏祭りと槇の里祭は残念ながら中止し、園内行事として実施することとした。しかしここ数年の経験で十分に楽しませる内容とすることができた。

歌の祭典については保護者を呼ぶことはできなかったが、たきの先生と歌手の藤森さんを呼ぶことができ、感染対応下でも利用者の余暇を盛り上げることとなった。

(6) 販売会

基本的には感染対策を取りつつ実施可能なものに参加する方向で取り組んできた。9/27にホテル三日月にて特産品販売、3/3～5まで茂原アスモにて生き生き展に参加。久しぶりに地域の販売会に参加することができた。

(7) 資料

・園外行事

実施月日	行先・内容	参加者
6 / 3・4	ホテル観賞会	希望者
6 / 17	ボーナス外出	全 員
11 / 1	芋掘り大会	全 員
11 / 16	いすみ鉄道乗車イベント	希望者
12 / 2・3	クリスマスイルミネーション見学	希望者
12 / 8	ボーナス外出	全 員

・園内行事

実施月日	名称	内容	参加者
4 / 9	避難訓練	新人が中心	全 員
5 / 14	初期消火訓練	消火栓使用	全 員
5 / 19	お楽しみ会	ゲーム／カラオケ等	全 員
6 / 11	炊き出し訓練	体育館で実施	全 員
7 / 1～8 / 31	サマータイム		
7 / 9	避難訓練	地震訓練	全 員
7 / 28	夏祭り（お楽しみ会）	ゲーム／カラオケ等	全 員
8 / 7	ケース会議	交流ホームにて実施	職 員
8 / 14	花火大会	園庭にて実施	全 員
9 / 10	職員収集訓練	園庭にて実施	職 員
9 / 12	第三者評価（利用者調査）	各班対応	全 員
9 / 13・16・20	ワクチン接種（4回目）		全 員
10 / 8	避難訓練	地震訓練	全 員
11 / 7	さくら寮 30 周年記念	美術館にて	さくら寮生
11 / 12	避難訓練	火災訓練	全 員
12 / 10	避難訓練	火災訓練	全 員
1 / 14	避難訓練	初期消火訓練	全 員
1 / 28	ケース会議	交流ホームにて実施	職 員
2 / 4	避難訓練	地震訓練	全 員
2 / 9	第三者評価（経営陣）		経営陣
1 / 17・27・31	ワクチン接種（5回目）		全 員
2 / 12	歌の祭典	交流ホームにて実施	全 員
3 / 11	避難訓練	初期消火訓練	全 員

毎月、第1土曜日には、血圧・体重測定。
第4土曜日（原則）の昼食時に「誕生会」を実施。

恒例行事は利用者の楽しみとして定着している。保護者も参加を楽しみとしているが、感染症対策の為参加することは叶わないままであった。そのような中であっても、利用者と職員の工夫と努力によって楽しむことができ、保護者にもお便りを送って喜んでいただくことができた。今後の高齢・虚弱化にも対応ができ得る園内行事への先行的な取り組みとすることができた。

・一時帰宅

実施月日	学園生活者・職員の動きなど
5 / 1 ~ 5 / 5	新型コロナ感染対応の為中止
8 / 6 ~ 8 / 13	ケース会議、新型コロナ感染対応の為中止
11 / 20 ~ 11 / 23	一時帰宅実施
12 / 28 ~ 1 / 4	新型コロナ感染対応の為中止

新型コロナ感染対応の為、基本的に一時帰宅は中止を余儀なくされていたが、11月に3年ぶりに実現させることができた。お正月も実施予定ではあったが、新型コロナクラスター発生の為中止となった。一時帰宅中止の際には園内行事を代替え行事としたり、保護者会からおせち料理などを配慮して頂き、楽しむことができた。

・面会状況

実施日	主な行事	備考
4 / 10	個別支援計画書等の説明	中止
6 / 19	学園連絡会（万木・石けん・加工）	部分開催
7 / 24	学園連絡会（万木・GH・G実習）	部分開催
9 / 18	保護者主催のお楽しみ会・国吉祭礼	中止
10 / 2	保護者作業日	中止
12 / 11	保護者連絡会	中止
2 / 12	「たきの先生を囲む歌の祭典」	園内行事として実施
3 / 12	保護者連絡会	中止

面会日は感染状況を見ながら、部分開催を実施した。

面会日ならびに恒例行事に関しては、保護者も利用者の成長や地域とのかかわりを確認できる重要なものである。新型コロナ感染症の為自粛を余儀なくされている。ただし面会については、全体での開催でなく作業班ごとの部分開催を実施した。11月の一時帰宅を実施した事もあり、今後の保護者参加が待ち遠しい状況である。

・理事会・評議員会

理事会	6 / 9	11 / 24	3 / 9
評議員会	6 / 24	12 / 9	3 / 24

【5】短期入所・日中一時支援

(千葉県)

種別	利用者		延日数・時間	前年度
短期入所	1	Na・Fu	96日	0日
	2	To・Ta	365日	365日
	3	Ka・Yu	365日	20日
(計)	3人		826日	対比日+441日
日中一時支援	1	Na・Fu	56時間	39.5時間
	2	Tu・Ri	220.5時間	25時間
	3	Su・Ki	21時間	25時間
(計)	3人		297.5時間	対比+233時間

(東京都)

種別	利用者	日数	備考
短期入所	Sa・Da	30日	年度途中で入所
(計)	1人	30日	

【6】グループホーム

(1) GHの利用状況(変化なし)

GH	利用者(男・女)	日中活動など
さくらの家	5名(男3・女2)	職場就労、生活介護(学園の生活介護)
たんぼぼの家	5名(男2・女3)	職場就労、生活介護(学園の生活介護)

高齢化問題はGH利用者も同様で、G実習参加は継続しているが週末などは必要に応じて学園対応としている。

(2) GH ケア会議

寮長やGH支援員補助職員、GHサビ管、地域生活委員会の委員などが参加して利用者情報の共有と対策等を検討した。

(ケア会議実施日)

4 / 26	5 / 27	6 / 28	7 / 26
9 / 30	10 / 28	11 / 25	2 / 10

(3) 移動支援事業者による活動状況（2ヶ所のGHの計）

	利用回数（回）	総利用時間（時間）	週平均時間
令和3年度	0	0	0
令和4年度	7	24	1, 7
増減	+7	+24	+1, 7

*新型コロナウイルス感染予防により、一定期間は実施できず。

(4) 防災訓練・地域清掃活動

さくらの家、たんぼぼの家共に、昨年度と同様に「減災」を意識したBCPに基づく備品管理は毎月実施している。また、避難訓練は夜間を想定（19:00～）した内容で、R4、9/17とR5、3/20に実施した。地域清掃活動は、さくらの家が10/16。たんぼぼの家が11/23に実施した。両日ともいすみ鉄道の国吉駅の清掃を行った。

【7】食 事と睡 眠

- ・食事に関しては、【2】利用者支援の柱（5）食事形態 5頁参照。
- ・睡眠時間の確保は、健康維持における重要な問題である。睡眠時間の確保に向けた対応は常に必要な利用者には個別にチェックして支援の検討材料に反映している。昨年度と同様にコロナ禍でも特別な支障をもたらす利用者は少なく、毎月行っている脳神経科医の野村先生の診察でも、特定利用者の報告や相談程度だった。

【8】会 議

「会議」の目的は「課題に対してなにをするかを決定すること」であり、決定したことは実践し、その結果に責任を持つこと（検証）が不可欠である。

(1) 運営会議

幹部職員で構成し、重要事項を協議して円滑な事業運営を図る。

ボーナス支給査定委員会、金銭管理委員会、虐待防止委員会（2/16）

開催。谷川先生と谷島保護者会長については書面にて承諾書を頂く）

考課者調整会議開催（前期10/27・後期3/29）

(2) 職員会議〔第4土曜日午前中開催〕

全職員が参加し、学園全体に関わる諸問題を報告・検討して周知徹底を図った。

(3) 支援会議〔第2土曜日午前中開催〕主任会主催。

会議目的は多くの職員の意見をくみ取り、課題に対する支援の方向性を定めることである。男女別会議の活用も進み、より個別具体的な課題を調整することにつながっている。

(4) サービス点検委員会〔適時開催〕

学園全体に関わる事項の検討・報告は、職員会議/支援会議を通じて全体に周知させている。

(5) 主任会〔月/1階〕

主任、各班の責任者で構成し、課題を分析・提案し、その後の検証までを行う。4年度も準職員/パート職員の研修も企画し実施した。

(6) 作業班・委員会会議〔作業班会議は隔月/1回〕

各作業班及び各専門委員会の計画に沿った支援状況のモニタリングを行う。また、新たな課題等について検討を行った。

(7) クラブ担当者会議〔年/2回実施〕

(8) ケア会議〔月/1回〕

GH さくら・たんぼぼの家 寮長と寮長補佐、サビ管、学園職員が参加して、学園とGHを繋ぐ大切な情報を共有する場である。必要に応じてバックアップ体制を整えている。

〔専門委員会〕

①権利擁護委員会 【2】利用者支援の柱より (5)権利擁護 15頁参照。

②生活余暇委員会

昨年度に引き続き、コロナ感染予防により学園行事や帰省が中止となり、委員会として代

替え行事を企画し、規制の中でも利用者の楽しみに繋がるように取り組んだ。また、生活の中で季節感を感じられるように、季節ごとに棟内を装飾し気持ちの豊かさを求め演出した。

③地域生活委員会

令和4年度の地域支援委員会は、引き続き新型コロナウイルスの影響から活動の見合わせを余儀なくされた中であつたが、さくら・たんぼぽとおやつパーティーを前期後期と各2回行った。出張散髪においては、散髪の様子を写した写真付きの感謝のお手紙をプレゼントして、大変喜んでいただけた。また地域清掃を10/16さくらで国吉駅、11/27たんぼぽで上総中川駅、そして11/16には「駅を掃除していすみ鉄道に乗せてもらおう」の計画をそれぞれ実施。その旨機関誌「さぎなみ」に紹介、委員会の活動を報告することができた

④就労委員会

クラスター発生に伴い、就労活動を度々休む事になったが、4年度も就労者の安定した活動を保つ事ができた。特に最低賃金の上げは、コロナ禍ではあるが就労利用者の生活に潤いと活性に繋がる機会にもなった。

⑤健康管理委員会（精神科などの診察担当も含む）

利用者の健康状態、並びに栄養面の把握、検討を実施している。委員会は給食委託業者、看護師、栄養士、支援員等で構成され、毎月の会議の中で内科通院の情報提供や食事面等の個別的な配慮、改善なども実施している。また、日常の食事の楽しみも追及しており、四季折々の工夫や味付け等にもその都度対応を行っている。また、野村診察も毎月実施され、日常の利用者の様子を報告し、健康管理に活かされている。野村先生は産業医としても職員のメンタルヘルスや、働き方改善の助言等を頂いている。

⑥商品研究委員会

4年度より新たに作られた委員会。主に、食品加工班と石鹼班の商品の販売の仕方等を提案。3月よりネット（メルカリ）販売を試行的に行った。また、YouTubeにて、石鹼の商品紹介を行った。現在、商品研究委員会、陶芸クラブ、外作業班で協力し、竹灯籠の試作品を作成。今後は、商品化できるように進めていく。

⑦虐待防止委員会

虐待防止委員で構成し、2月に運営委員会を開催した。「職員セルフシート」の活用は一定の成果を得たとの判断により4年度3月で終了とした。また、希望利用者を対象に3年度と同様に4年度も「悩み相談会」を各月で開催した。

⑧ICT委員会

前年度からICTの本格導入に向けて準備を進め、滞りなく移行を達成する事が出来た。

令和4年度はGHについても移行に向けて研修を繰り返し行った。又園内の電波状況の問題を改善する為に、東京都より補助金を受けて園内全域にWi-Fiを敷くことが出来た。

⑨ オンブズマン会議「よろず相談会」

今年度も新型コロナウイルス感染予防の為、中止。代替えとして、希望者を対象に施設長と課長補佐を窓口「悩み相談会」を隔月で実施した。

⑩ いすみ地区自立支援協議会

DWAT（千葉県災害福祉支援チーム）に関する講習会に参加した。

【9】その他

① 「福祉サービス第三者評価」

令和4年度、「NPO法人 メイアイヘルプユー」で受審。

その結果については「福祉ナビ」で公開されている。

② 各作業班の顧客

・食品加工班

ごじゃ箱（大原）	290-0004 いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱（岬）	299-4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298-0105 いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298-0002 いすみ市日在 1158-1	0470-64-0502
道の駅（ながら）	297-0233 長柄町六地藏 138-1	0475-35-4741
カインズマルシェ	297-0007 茂原市腰当 653-1	070-2790-9027
ヴィラそとぼう	299-4611 いすみ市岬町和泉 4427-1	0470-87-7111
セルフショップぶなの森	596-0808 岸和田市北町 16-20	072-431-2878
りんごの木	581-0868 八尾市西山本町 4-15-2	0729-93-4330
ながら太陽ファーム	297-0206 長柄町山根 2010	0475-47-3711
非営利活動法人日本セルフセンター	160-0022 東京都新宿区新宿 1-13-1 大橋御苑駅ビル別館 2階	03-3355-8877
特定非営利活動法人 PIPPO	125-0042 東京都葛飾区金町 5-28-2	050-5275-2000
レオック	125-0042 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル 17階	03-5220-8503
長生村尼ヶ台直売所	長生郡長生村本郷 5366	0475-32-5237
パレットショップひびき	577-0804 大阪府東大阪市 中小阪 5丁 14番 23号	06-6732-1130
ベーグル粉音	299-4616 いすみ市岬町長者 37-3	0470-64-4802

・外作業

ごじゃ箱 (大原)	290-0004 いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱 (岬)	299-4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298-0105 いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298-0002 いすみ市日在 1158-1	0470-64-0502
道の駅 (たけゆらの里)	298-0256 夷隅郡大多喜町本神 855	0470-82-5505
道の駅 (ながら)	297-0233 長柄町六地藏 138-1	0475-35-4741
レオック		
ながら太陽ファーム	297-0206 長柄町山根 2010	0475-47-3711

・石鹼班

ごじゃ箱 (大原)	290-0004 いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱 (岬)	299-4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298-0105 いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298-0002 いすみ市日在 1158-1	0470-64-0502
農産物直売所「はじめの一步」	299-4413 長生郡睦沢町上之郷 1952	0475-43-0877
農産物直売所「尼が台」	299-4345 長生郡長生村本郷 5366-1	0475-32-5237
道の駅 (ながら)	297-0233 長柄町六地藏 138-1	0475-35-4741
道の駅 (たけゆらの里)	298-0256 夷隅郡大多喜町本神 855	0470-82-5505
源氏商店	298-0124 いすみ市弥正 375	0470-86-2053
JA いすみグリーンSPA	299-0001 いすみ市若山 411	0470-60-9820
なのはな東浪見店	299-4303 長生郡一宮町東浪見 1621	0475-47-3600
エビスヤ	299-4501 いすみ市岬町椎木 1846	0470-87-2709
カエム農園	298-0252 大多喜町三又 851	0470-84-0344
わくわく広場 東郷店	297-0017 茂原市東郷 1618	0475-22-7320
ながら太陽ファーム	297-0206 長柄町山根 2010	0475-47-3711

施設設備の整備状況

令和4年度の主な設備整備は次の通りである。

〔固定資産の取得〕

整備名 「新館エレベーター改修工事」

取得価格	13,860,000円
(内訳) 自己資金	4,260,000円
補助金	9,600,000円 (社会福祉法人清水基金)

整備名 「利用者見守り支援機器 (見守り介護ロボット aams)」 導入

取得価格	244,200円
(内訳) 自己資金	81,454円
補助金	162,746円 (東京都)

整備名 「情報共有のためのソフトウェア (ほのぼの記録システム)」 導入

取得価格	759,000円
(内訳) 自己資金	253,168円
補助金	505,832円 (東京都)

整備名 「作業棟6カ所のLAN配線敷設とWi-Fi環境整備」

取得価格	3,225,200円
(内訳) 自己資金	1,075,778円
補助金	2,149,422円 (東京都)

整備名 「食品加工棟作業器具及び備品整備」

取得価格	2,433,400円
(内訳) 自己資金	614,053円
補助金	1,819,347円 (東京都赤い羽根共同募金)

令和4年度 評議員会開催状況

開催年月日	定数/出席者数	議 案	欠席	監事・他出席者
令和4年6月24日	8/8	第1号議案 「令和3年度事業報告書(案)」承認の件	五十嵐正一	今野 康子 豊岡 敬 井上 秀一
		第2号議案 「令和3年度決算報告書(案)」承認の件		
		第3号議案 「社会福祉充実残額シート(案)」承認の件		
		第4号議案 「社会福祉法人清水基金助成 いすみ学園新館エレベーター改修工事(案)」承認の件		
		第5号議案 「新監事選任(案)」承認の件		
令和4年12月9日	8/8	第1号議案 「第一次補正予算(案)」承認の件	今野 康子	豊岡 敬 皆川 明良 井上 秀一 軽達 進一
令和5年3月24日	8/8	第1号議案 「第二次補正予算書(案)」承認の件	今野 康子	豊岡 敬 皆川 明良 加茂 正和 軽達 進一
		第2号議案 「令和5年度事業計画書(案)」承認の件		
		第3号議案 「令和5年度収支予算書(案)」承認の件		

令和4年度 理事会開催状況

開催年月日	定数/出席者数	議案	欠席	監事・他出席者
令和4年6月9日	7/5	第1号議案 「令和3年度事業報告書(案)」承認の件	半場 新一 大原 俊二 五十嵐正一	今野 康子 皆川 明良 井上 秀一
		第2号議案 「令和3年度決算報告書(案)」承認の件		
		第3号議案 「社会福祉充実残額シート(案)」承認の件		
		第4号議案 「社会福祉法人清水基金助成 いすみ学園新館エレベーター改修工事(案)」承認の件		
		第5号議案 「役員等賠償責任保険契約について」		
		第6号議案 「評議員会への新監事選任(案)」提案の件		
		第7号議案 「評議員選任・解任委員会の委員の 五十嵐氏の退任にともなう候補者」選定の件		
		第8号議案 「第1回評議員会の日程ならびに議案」承認の件		
令和4年11月24日	7/6	第1号議案 「コロナ対応特別支給金規程(案)」承認の件	今野 康子 銅谷 勝子	豊岡 敬 渡邊 洋子 井上 秀一 軽込 進一
		第2号議案 「常勤職員・準職員嘱託職員給与等規程(案)」改正の件		
		第3号議案 「第一次補正予算(案)」承認の件		
		第4号議案 「育児・介護休業等規程(案)」改正の件		
		第5号議案 「常勤職員および準職員・嘱託職員就業規則(案)」改正の件		
		第6号議案 「虐待防止規程(案)」改正の件		
		第7号議案 「個人情報保護規程(案)」改正の件		
		第8号議案 「第2回評議員会の日程ならびに議案」承認の件		
令和5年3月9日	7/7	第1号議案 「第二次補正予算書(案)」承認の件	今野 康子	豊岡 敬 皆川 明良 加茂 正和 軽込 進一
		第2号議案 「令和5年度事業計画書(案)」承認の件		
		第3号議案 「令和5年度収支予算書(案)」承認の件		
		第4号議案 「常勤職員給与等規程(案)」改正の件		
		第5号議案 「第3回評議員会の日程ならびに議案」承認の件		